

令和2年7月22日（水）

「はま研究会アワビ班の活動がスタートしました」

5月27日（水）、大槌町赤浜地区にある東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター（以下、東大海洋研センター）において、アワビ班の活動がスタートしました。活動テーマは『アワビの殻に見られるマダコの捕食痕調査』で、3年生男子5名が活動に参加しました。

この日は東大海洋研センターの早川淳先生にガイダンスを開いていただき、生徒たちは本活動の意義や面白さを学ぶことができました。また、実際にマダコに捕食されたアワビの貝殻を観察し、捕食痕の特徴を捉えることができました。

今後は、週1～2回のペースで、大槌湾の様々な地点で回収されたアワビの貝殻の観察をしていきます。普段知ることのないアワビやマダコの生態を学べるチャンスということで、生徒たちの目はキラキラと輝いていました。

